

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 9 月 25 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2011～2014

課題番号：23593372

研究課題名(和文) 地区組織活動を強化するコミュニティ・エンパワメントモデルの開発

研究課題名(英文) Development of a community empowerment model to enhance community organization activities

研究代表者

中山 貴美子 (Nakayama, Kimiko)

神戸大学・保健学研究科・准教授

研究者番号：70324944

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の目的は、保健師がコミュニティ・エンパワメントをめざした地区組織活動の強化を支援するコミュニティ・エンパワメントモデルを開発することであった。本研究の結果、コミュニティ・エンパワメントモデルが開発された。コミュニティ・エンパワメントモデルは、支援の構成要素を縦軸に、住民組織のコミュニティ・エンパワメントの発展プロセスを横軸に配置した。支援の構成要素は、住民の状態像、住民と保健師の関係性、保健師の支援の意図と内容であった。

研究成果の概要(英文)：This study aimed to develop a community empowerment model to enhance public health nurses' support for community organization activities. Thus, a community empowerment model was developed. In this model, the support components were defined as the vertical axis while the developmental process of community empowerment was defined as the horizontal axis. The support components were as follows: residents' status images, relationship between the residents and public health nurses, public health nurses' intention, and their support content.

研究分野：公衆衛生看護学

キーワード：エンパワメント コミュニティ 地区組織 保健師 ヘルスプロモーション

1. 研究開始当初の背景

1986年にWHOがヘルスプロモーションを推進して以来、保健活動の現場では、国民の健康課題解決のために地区組織活動の強化が重視されている。行政に所属する保健師は、コミュニティ・エンパワメントをめざして地区組織活動を支援している。

コミュニティ・エンパワメントとは、「地域や地区組織の人々が自分たちと地域の人々に共通の保健上の課題に気づき、その改善やwell-beingの実現に向けて、組織内のみでなく、地域に向けて行動をおこし、影響を与えていく過程であり、その結果を含むもの」である。コミュニティ・エンパワメントをめざした地区組織活動は、健康日本21推進委員会などの委員組織や健康推進員などの地縁組織、地域ボランティア組織等によって行われている。しかし、保健活動の現場では、健康危機等の新たな健康課題への対応や業務分担制による地域活動支援の弱体化、若手保健師の実践能力低下等の課題がみられ、それらの地区組織活動への支援が効果的に行えず、地区組織活動の停滞や消滅等がみられている。

2. 研究の目的

本研究の目的は、地区組織がコミュニティ・エンパワメント(以下、CEと略す)することを保健師が支援するモデルを開発することである。

3. 研究方法

研究方法は、まず概念枠組み案を作成した。CEに関する文献から、CEをめざした支援の構成要素を抽出した。構成要素は、個人・集団・地区の状態像、住民と保健師の関係性、保健師の認識と支援の意図、保健師の支援内容、影響要因、保健師の前提・基盤であった。次に、構成要素を地区組織のCEの発展プロセス毎に整理した。プロセスは、文献から個人・集団・地区の状態

像を抽出し、それを基に、地区住民が地区の課題に気づいていない状態から地区住民による地区の問題の意識化・明確化、目標および問題解決方法についての意思決定と合意形成、活動開始期、主体的な活動展開期、発展期の6段階を設定した。概念枠組みの案は、研究者間で協議し、支援の構成要素を縦軸に、CEの発展のプロセスを横軸に配置した。

次に、概念枠組み案の内容を確認した。概念枠組み案は、実際にCEされた3事例の状態像と保健師の支援を当てはめ、各事例の構成要素の内容と不足している構成要素がないかどうかを確認した。対象は、すでにCEされた3地区組織のメンバー6名と保健師5名であった。調査時期は、平成24年12月であった。調査方法は、研究者が現地に赴き、CEの発展のプロセス毎に内容を聞き取った。分析は事例毎に行い、概念枠組み案の項目に該当する内容と不足している構成要素を抽出した。

その後、概念枠組み案の分析の妥当性を確認した。調査対象は、前調査と同じ地区の保健師4名であった。調査時期は、平成25年12月から平成26年2月であった。分析後、モデル案を作成した。

モデル案は、妥当性を確認した。調査対象は、すでにCEされた2地区組織の保健師4名とメンバー3名であった。調査時期は、平成26年10月から11月であった。その後、研究者間で協議を行い、モデルを完成させた。

本研究は、神戸大学大学院保健学倫理委員会の承認を得て行った。調査対象者には調査の目的と協力の任意性、匿名性の保持等について記載した説明書を用いて説明し調査の同意を得た。

4. 研究成果

3事例の概要を述べる。A地区組織では、

住民と関係機関が話し合いを重ねることで意思疎通が図られ、地区毎に主体的に活動する状態がみられた。保健師は、住民との信頼関係と住民同士のつながりを大切にしてい、住民が自己効力感や達成感を高められるように関わっていた。B地区組織では、もともと健康意識の高い住民達が、自分たちで問題を発見し、それを解決するためのしくみをつくり、専門家との協働や専門家が問題を解決できる場の提供等まで行っていた。保健師は、情報の提供や場の調整、住民が学ぶ力をつけることを支援していた。C地区組織では、保健師がしかけを作り、住民が自分たちの地区で自主的に健康づくり活動を展開していた。保健師は、住民が自分たちで役割を調整し、無理なく活動を継続できるように、場の提供や地区担当による細やかな支援を行っていた。構成要素は、不足している項目はなかった。

モデルは、縦軸が住民の状態像、メンバーと保健師の関係性、保健師の支援の意図、保健師の支援内容、影響要因、保健師の前提要因であった。縦軸は、健康課題が潜在的な状態から、地域住民による地域の問題の意識化・明確化、目標及び問題解決方法についての意思決定・合意形成、活動開始、主体的な活動展開、発展期・継続期であった。住民の状態像は、健康課題の認識と活動状況等から構成された。メンバーと保健師の関係性は、保健師の役割に対する住民の理解と保健師に対する住民の信頼等で構成された。

地区組織のCEの発展のプロセスは、AとBが発展期、Cは主体的な活動展開期と考えられた。これらの活動は、保健師と住民との人間関係を基盤とした活動であった。本概念枠組み案の項目は、CEされた地区組織の事例に当てはめることができた。

保健師が地区組織をCEするモデルは、保健師と住民の関係性が中心に位置づくも

ので

あった。保健師の支援は、地区組織の発展の段階に対応して、支援対象の重みや内容が変化するものであった。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 1 件)

保健師の社会的使命とソーシャルキャピタル 研究者の立場から：中山貴美子,日本公衆衛生看護学会誌第 2 巻第 1 号, p57-60,平成 26 年 3 月

〔学会発表〕(計 1 件)

地区組織のコミュニティ・エンパワメントのための保健師の支援の検討：中山貴美子・小寺さやか・草野恵美子・鳩野洋子・金子仁子, 第 2 回日本公衆衛生看護学会学術集会,平成 26 年 1 月 13 日,神奈川県

〔図書〕(計 0 件)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

国内外の別：

取得状況(計 0 件)

名称：

発明者：

権利者：

種類：

番号：

出願年月日：

取得年月日：

国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

6. 研究組織

(1)研究代表者

中山 貴美子 (NAKAYAMA, Kimiko)

神戸大学・大学院保健学研究科・准教授

研究者番号：70324944

(2)研究分担者

草野 恵美子 (KUSANO, Emiko)

大阪医科大学・看護学部・准教授

研究者番号：70346419

鳩野 洋子 (HATONO, Yoko)

九州大学・大学院医学(系)研究科・教授

研究者番号：20260268

金子 仁子 (KANEKO, Masako)

慶應義塾大学・看護学部・教授

研究者番号：40125919

小寺 さやか (KOTERA, Sayaka)

神戸大学・大学院保健学研究科・准教授

研究者番号：30509617